

あとも に生きる人間のまち…みほ

社協だより

第 2 回

昭和63年9月1日

編集 発行
社会福祉法人
美浦村社会福祉協議会
老人福祉センター内
☎ 85-0038



ボランティアとは…

詩 永 六輔

生きてくるとは誰かに借りかきしるなり
生きてくるとは誰かに借りかきしるなり
生きてくるとは誰かに借りかきしるなり
誰かに借りたら誰かに返す
誰かに借りたら誰かに返す
誰かに借りたら誰かに返す

生きてくるとは誰かに借りかきしるなり
生きてくるとは誰かに借りかきしるなり
生きてくるとは誰かに借りかきしるなり
つないだ手のぬくもりを 忘れないで
めぐり逢い 愛しあい やがて別れの日
その時に悔まないように 今日を明日を生きて
人は一人では生きてゆけない
誰も一人では歩いてゆけない



二十一世紀 高齢化社会に向けて!!

ボランティア活動にあたって

美浦村社会福祉協議会副会長
美浦村民生委員協議会総務

高野 芳雄



わが村でもボランティア活動が村民に理解され、意義づけられつつあることは大変喜ばしいことであります。

ある人の言葉ですが、「どこに住んでいても、どんな年齢でもすべての人はそれぞれの人生設計のもとに、美しく生きるために頑張っている。その生き方に共感し、その表れとして可能な限り手を添えあうことはすばらしいことである。生きる美しさに目をと

どめ、人間の存在する意味を理解し、生命のいとおいしさを感じた行動は貴重である。こうした背景にのみボランティア活動は存在の意味がある」と言ったのを思い出します。この言葉はボランティア精神の表れだと思えます。

高齢化社会がより現実的となった今日、私たち民生委員は社会的弱者と言われる高齢者の方々を中心に、地域のなかで健やかに生活をしていただくために活動しております。

しかしながら、ともに生きるためにはどうしても地域のボランティアをはじめとする皆様方のお力添えをいただくなければなりません。それに

は住民の組織による社会福祉協議会活動がございます。

この会の事業として、昨年度から民生委員とともにボランティアの皆さんのお力をかりて、村内に住む四十余名のひとりぐらし老人の食事サービスを実施いたしております。いわゆる在宅福祉の実践であります。二十一世紀にむけての社会福祉は高齢者問題につきまると思います。その需用を満たすために、さらにボランティア活動に期待されることが多くなつて参ります。私たち民生委員も、多くのボランティアの方々とともに、さらに高まりゆく社会福祉の充実のために努力して参りたいと存じます。

昭和62年度決算

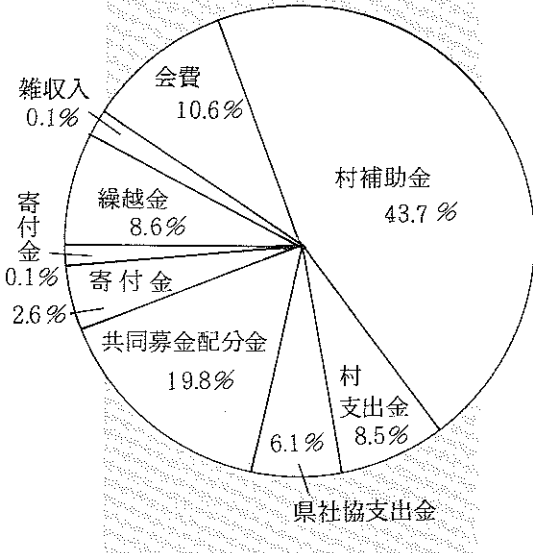
昭和62年度の総収入額は20,860千円、支出総額は19,987千円で収支差引残高は872,932円となりました。

収入は当初予算と比較して1,605,763円と10.9%の増となりました。これは、会費の増(会議議員、民生委員、村内にある行政機関及び学校関係職員の特別会費)と中央競馬会関係優勝馬主からの寄付金及び、共同募金会からの助成(ホープ農場自動車購入費)が大幅にあったからです。

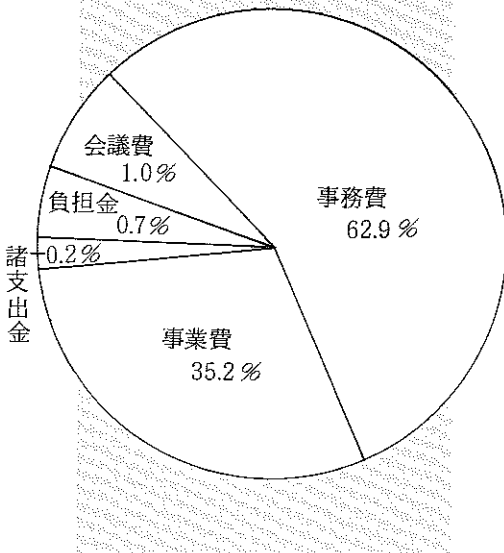
なお、支出としては老人福祉費を中心とする新規事業とさらに、心身障害者(児)の働く場所としてのホープ農場繰出し金としての支出がありました。

昭和62年度社会福祉法人美浦村社会福祉協議会一般会計収支計算書(単位:円)

歳入の部 20,860,695円



歳出の部 19,987,763円



1. 歳入の部

1. 会費	2,203,140	10.6%
2. 村補助金	9,117,000	43.7%
3. 村支出金	1,778,000	8.5%
4. 県社協支出金	1,268,000	6.1%
5. 共同募金配分金	4,140,320	19.8%
6. 寄付金	545,000	2.6%
7. 雑収入	33,650	0.1%
8. 繰越金	1,775,585	8.6%
計	20,860,695	100%

2. 歳出の部

1. 会議費	204,440	1.0%
2. 事務費	12,556,040	62.9%
3. 事業費	7,043,583	35.2%
児童福祉費	130,700	
母子、父子	33,000	
老人	1,815,533	
心身障害者	98,040	
ボランティア活動費	87,510	
世帯更生資金	45,000	
貸付活動費		
広報活動費	98,400	
善意銀行推進費	21,600	
研修費	201,430	
歳末援護費	1,138,370	
福祉教育費	154,000	
繰出金	2,785,000	
団体助成費	435,000	
4. 負担金	127,700	0.7%
5. 諸支出金	56,000	0.2%
6. 予備費	0	
計	19,987,763	100%

昭和63年度会費及び特別会計費のご報告

社協会費集計表

行政区	一般会員		特別会員		合計	行政区	一般会員		特別会員		合計
	戸数	金額	戸数	金額			戸数	金額	戸数	金額	
浜	66	33,000			33,000	山内	20	10,000	1	1,000	11,000
登山	59	29,500			29,500	八井	40	20,000			20,000
山田	32	16,000			16,000	根手	36	18,000			18,000
上後	38	19,000			19,000	木	29	14,500			14,500
郷受	33	16,500	2	2,000	18,500	定本	18	9,000			9,000
須賀	12	6,000	22	22,000	28,000	間土	18	9,000			9,000
大茂	83	41,500	4	4,000	45,500	端馬	35	17,500			17,500
宮余	71	35,500	8	8,000	43,500	見	15	7,500	1	1,000	8,500
石津	88	44,000	5	5,000	49,000	美	80	40,000			40,000
谷須	16	8,000	5	7,500	15,500	美	18	9,000			9,000
津根	28	14,000			14,000	美	18	9,000			9,000
須賀	38	19,000	1	1,000	20,000	美	41	20,500			20,500
仲賀	86	43,000	4	4,000	47,000	美	101	50,500	1	1,000	51,500
給南	67	33,500			33,500	美	70	35,000			35,000
布東	50	25,000			25,000	美	106	53,000			53,000
布西	17	8,500			8,500	美	99	49,500			49,500
土上	42	21,000	3	5,000	26,000	美	105	52,500			52,500
山下	38	19,000			19,000	美	65	32,500			32,500
大谷	81	40,500	2	2,000	42,500	美	114	57,100			57,100
	27	13,500			13,500	美	81	40,500			40,500
	39	19,500			19,500	美	116	58,000			58,000
	27	13,500			13,500	美	99	49,500			49,500
	186	93,000			93,000	美	116	58,000			58,000
	160	80,000			80,000	美	63	31,500			31,500
	202	101,000			101,000	美	30	15,000			15,000
	14	7,000	1	1,000	8,000	美	20	10,000			10,000
	21	10,500	6	6,000	16,500	美	114	57,000			57,000
	14	7,000			7,000	小計	1,667	833,600	3	3,000	836,600
小計	1,635	817,500	59	67,500	885,000	合計	3,302	1,651,100	62	70,500	1,721,600

特別賛助会員	金額	特別賛助会員	金額
細谷建設工業	30,000	美浦村長	5,000
美浦総合商	30,000	美浦村助	5,000
日本テキサスインスツルメンツ	30,000	美浦村収入	5,000
緑興	10,000	美浦村教育	2,000
美浦ガス	10,000	美浦村役場	98,000
スタノ農機	10,000	美浦村保育所	3,500
美浦ナカ	10,000	大原谷保育所	5,500
美浦電機工業	10,000	大美浦幼稚園	7,500
安藤建設	10,000	木原谷小学校	14,000
日城南総合	10,000	大谷小学校	18,500
日城酸素	10,000	安中中学校	12,000
美浦ケビゲ	10,000	美浦中学校	20,000
丸井織維工業	10,000	美浦消防出張所	5,500
市小沢石	10,000	社会福祉協議会	3,500
川建設工業	10,000	美浦村民生委員(18名)	54,000
美浦ハイ	10,000	美浦村議会議員(20名)	60,000
高橋工務店	10,000		
常陽銀行	10,000		
稲敷農協	10,000		
美浦協村農	10,000		
関東農産	10,000		
昭和スプリング	3,000		
次城サンマー	3,000		
美浦都市	5,000		
25件	301,000		319,000

一般会費	1,651,100円
特別会費	690,500円
合計	2,341,600円

本会では、地域福祉をより充実向上させるため、「ともに生きる人間のまち、みほ」の実現をはかるために是非必要な住民のおもいやりの心を支えるものとして、全戸加入による会員制の会費がございませう。

ことしも、区長さんのお骨折りをいただききょ出していただきました。

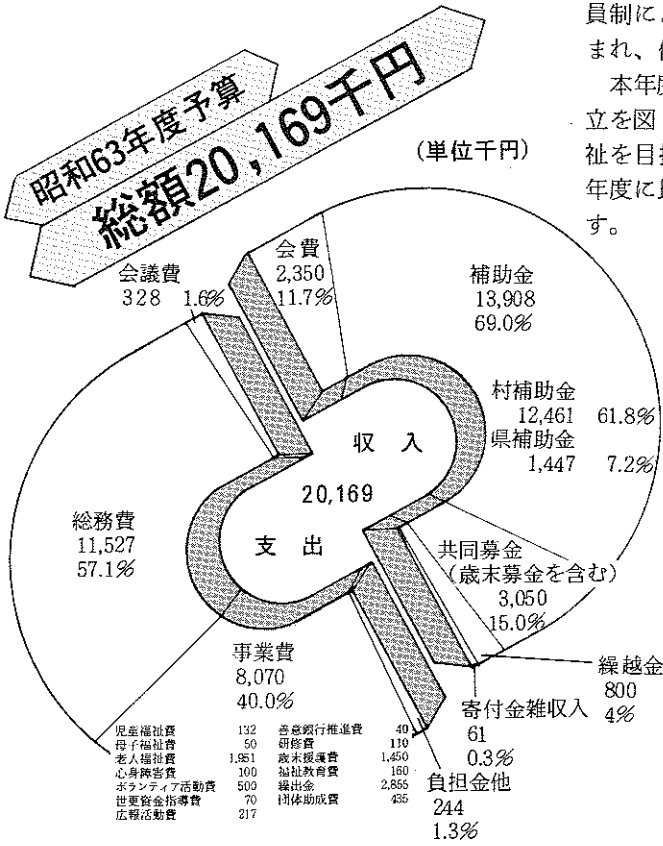
このほかに、特別会員として村議会議員の皆様を始めとして民生委員、村役場職員、学校、幼稚園、保育所に勤務される教職員、また消防署員の善意と、村内に於て活躍される企業等多くの皆様方の御芳志をいただきました。誠にありがとうございました。

昭和63年度予算説明

昭和63年度の予算をご報告いたします。

社協活動に必要な主な財源は補助金のほか、全戸会員制による会費、共同募金配分金及び一般の寄付金等も含まれ、住民の善意によるところが大きくなっています。

本年度の予算は、前年度に引き続き事業内容の充実と確立を図り、特にボランティア活動に重点をおき、村民の福祉を目指した事業計画によるきめ細かな予算を編成し、前年度に比較して1,787千円（11%）の増加となっております。



会費の内訳

一般会費	1,650,000円
特別会費	300,000円
法人特別会費	400,000円

事業施策

ボランティア活動の推進

- ・村内の福祉問題を住民が自ら自分の問題としてとらえ、思いやり、助けあいの心を高めていく。
- ・ボランティア集会の場の確保
- ・ボランティアの発掘と育成
- ・在宅サービスへの活動の強化

地域福祉・在宅福祉の充実

- ・特に長寿社会における老人の福祉を高める。
- ・ひとりぐらし老人の福祉の充実

・ねたきり老人の生活の向上

・老人クラブの育成と充実

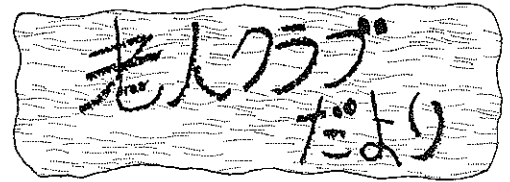
福祉教育の充実

・村内小・中学校児童生徒の福祉作文の募集

広報活動の充実

心配ごと相談所の開設

- ・毎月1日、15日に村民の心配ごととの相談に応じます。
- ・毎月1回、弁護士による法律相談



美浦村老人クラブ連合趣味クラブの現状 (昭和63年度)

クラブ名	部長名	概況	会員数
クロケター	吉田 憲一	村長杯、工業杯、農協杯、年齢別、三世代大会と日頃の成果を精集	262名
民謡	飯生 安夫	月2回センターに集り、練習、交歓をしている	49
歴史	谷畑 菊次	村内、県内の史蹟巡り(宿泊を含む)実施	141
書道	小沢 起一	師範、準師範と有段者、センターで月1回批評会	21
将棋	正慶 茂雄	月2回センターで、交歓会を実施	17
盆裁	諸岡 弘直	年4回センターに技術者を招き講習会実施	42
文芸	増生 源二	月2回センターにて句会交歓実施	20
写真	橋本 一夫	現地撮影会(宿泊2回)等による作品出展	32
ダンス	宮本 亀丸	毎週センターにてレッスンを実施	38
計			622名

古切手で難民救済を!!

切手二百枚でペニシリ一本

美浦村老人クラブ連合会の皆さんは、社会奉仕の一環として、古切手を集め、アフリカ難民を始めとするアジア各地において困っている人々のために使っていただくよう送っております。村の皆さんも、各支部の支部長宅へお寄せいただけます。切手二百枚でペニシリ一本と交換できるそうです。現在まで次のとおりです。

- 大塚支部 三二枚
 浜 " 三七九枚
 郷中 " 一六三枚
 大須賀津 " 二〇八枚
 美駒 " 二〇二枚
- ◇一般
 役場 一三八九枚
 美浦局小沢氏 一〇一枚
 六区小林氏 一二〇枚
 増尾和子様 五七五枚
 (二月、七月末)

「一つ、二つ、三つ、四つ、五つはいけませんよ!!
 男は必ず左足から。女は反対に右足から出すんですよ。これがブルースステップの基本の約束よ」
 増田先生の甲高い、そしてユーモラスな指導は会員の心を動かす。
 足は心のようにスムーズに動かないが、明治、大正、昭和と厳しい男女関係の中で生



ダンスは 楽し!!



ダンスは 楽し!!

充実した老後を



きて来た会員の顔には、恥じらいと、踊れるという喜びが身体一杯に溢れている。
 私たちの寿命はまだまだ延びる。人間に与えられた生きることの幸せを、みんなであり

楽しくするために、三十余名のシルバードダンスクラブの男女会員が、ともに生きがい求めて、今日も「和気あいあい」のなかで、充実した老後の一ページが過ぎて参ります。

長寿社会は 私たちの手で!!
 あと少して二十一世紀になるうとしています。わが国の高齢化社会は急速に進み、三十年後には六十五歳以上の人口割合は二十四%となり、四人に一人はお年寄りの社会になるといわれております。
 年をとれば経済活動はなくなりません。幸い、年金支給による生活の保障が樹立されつつありますが、さらに長生き

このため、わが村の老人は村老人クラブ連合会、三十六単位クラブを核として、九つの趣味クラブが活動しております。特に趣味クラブ活動は自助精神を発揮、自主的な運

- ・ 八月二十一日開催
 - ・ 歩け歩け大会
 - ・ 九月十八日 開催
 - ・ 友愛訪問活動(年六回)
 - ・ 社会講座
- 宮による素晴らしい活動を続けております。
 できるだけ多くの会員の参加による高齢化社会の地固めとしていきたいものです。
 ◇趣味クラブの状況
 ◇連合会の主な事業
 三世代ふれあい事業
 ・ クロケター大会

特集

ボランティア
ニュース



美浦村ボランティアの会発足 !!

約束ごとや、かしらもない。とにかく、わが村でもボランティアと名のつくグループを多くつくろう。土台ができればその上に柱を立てることができるだろう。その柱は細くともよい。雨、風をしのげるものであればよい。

まず、その存在を示そうと6グループ40数名の人達がともに生きる幸福を求め、地域の福祉のために組織づくりをした仲間たちの活動の取り組みを紹介してみたい。

美浦村

ボランティアの会発足

社会福祉法人美浦村社会福祉協議会

茨城県稲敷郡美浦村木原 150-2
老人福祉センター Tel (85) 0038

美 駒 ボランティアの会 (11名) 代表 左近政子 金子 高子 樋口 徳子 保志 弘子 鈴木 品子 浅野 久子 佐藤 京子 小林美佐恵 長山 京子 長山由理子 矢作 和子	大 谷 ボランティアの会 (5名) 代表 久田千枝子 神保 とよ 上野 静江 小沢やすよ 広瀬 いつ	美浦婦人会 ボランティアグループ (7名) 代表 小泉慶子 山崎 良江 小泉 慶子 小山たか子 油木千枝子 宮本 公子 市川 昭子	クローバー (4名) 代表 高松英子 伊東 玲子 山科三重子 佐々木ミツ	読書会「虹」 (10名) 代表 山崎良江 市川 昭子 沼崎 恭子 鈴木美枝子 小沢 侑子 小泉 慶子 堀越 靖子 浅子 克子 鹿志村啓子 中沢 京子	木 原 ボランティアの会 (5名) 代表 小泉せつ子 中島 和子 萩田美智子 高橋 房子 葉梨 久枝 小泉 常子
--	--	---	--	--	---

寝たきり老人の
介護研修

六グループ

近村、東村幸田に特別養護老人ホーム水郷荘がある。六十人のいわば寝たきりのお年寄りたちが生活をしている。ことは、六グループのボランティアの人達が、月毎にこのホームで介護の研修と併せて、施設奉仕をすることになった。
着せ替え、食事介助、リネン交換のお手伝いをしながら人間愛、家族愛の心をお互いにたしかめあい、やがては、我が身にふりかかる高齢化社会の生きざまの糧とすべく、寝たきり老人の介護研修をかねて、各グループが一回以上参加することになった。

発足 !!

ニュース



食事サービスに

腕を振う

グループ「虹」

ボランティア六グループがことしは一回ずつ、今まで公民館活動の料理教室で習得した成果を、ひとりぐらし老人の食事サービスに奉仕しようとして、早急、七月に「虹」グループが腕を振った。

村内にお暮らしになるお年寄りの方には、とてもこのような料理は自分では作れないと涙ぐんでいる人もいた。

お金があつて、多くの人の参加をいただけるのなら、もっと回数を多くすることもできると、たすけあいの心がいたむ。

敬老会

9月15日

村と社会福祉協議会主催による、ことしの敬老会のお年寄りのサービスはボランティアグループに任せて頂くという事になった。

従来は各区や、婦人会のみなさんのお手伝いをお願いしておりました。わが村にもボランティアの組織ができたので、ぜひ私たちの手でやってみたいという希望のなかで実現した。一方、区長さん方の負担が少しでも軽くなれたらという願いもあつて……。

敬老会も、今年は一か月早い九月十五日となった。お祝いをとおして、敬老の人達とのふれあいと、喜びを味わいたいものである。

特集



児童館で

読書奉仕

わが村の福祉施設は児童館と、保育所がある。大谷地区にある児童館には、読書グループ「虹」(代表、山崎良江

他九名)が子どもたちに童話の読書奉仕活動を始めている。幼き子ども達に、夢を与え健全な育成に寄与している。

茨城ボランティア

振興県南大会

11月6日

十一月六日(日)、歌手であり多才な芸能人として有名なアグネスチャン(講演)を土浦市民会館に招き、県南六市十八町村のボランティア活動の問題を考える集会和、各種展示を併せ、盛大に催されます。

特集

美浦村ボランティアの会

ボランティア

特浴奉仕に参加して



大谷ボランティア

代表 久田 千枝子

昭和六十二年は、村社会福祉協議会のボランティアスクールに参加し、福祉施設見学、あるいは、ひとり暮らし老人の食事サービス等のお手伝いをした一年でした。

今年、さる四月二十一日老人福祉センターで美浦村ボランティアの会の結成が行われ、六つのボランティアグループができました。私の地区で大谷ボランティアと正式名で届出人数は五人です。その他に三、四人は常時お手伝いを願うことが出来ます。

また、六月十五日にはボランティア代表者会議があり、今年度の活動プランの第一回目として、社協の事業と提携で東村にある特別養護老人ホーム水郷荘にお手伝いに行くことに決まり、大谷の私達が最初の奉仕者として施設に生活する身体の不自由な老人のお世話に行くことになりました。初めてのことであり、少なからず心配でした。施設の新保生活指導員及び、寮母さんの簡単な説明をうけ、各人それぞれの仕事にかりました。私は、特浴介護サービスから始めました。この仕事は、かつて民生委員として施設訪問時に、二人の寮母さんが寝

たきり老人の身体を手早く洗っている姿に涙した想い出の場所でもありました。

長いゴムの前掛、長靴を借り、いっばしの寮母らしく石けんにまみれ、また汗まみれで、お年寄りの手のひらの中に、自分の指を入れて洗うのです。気持よさそうな顔。涙が自然とこみあげて参りました。私の亡母の手や足をこんな思いをこめて洗ってあげただろうか。涙が、汗があふれます。

ありがとう、ありがとうという老人達。二人の寮母さんの顔も輝いていました。この寮母さんの仕事を超越した真心を覗き見した思いです。精一杯動いてくださった仲間たちよありがとう。これからも力を貸して下さい。私達もこれから迎える老春をいかに生きるべきかの覚悟が出来た思いがします。(現民生委員)

わがまちボランティア活動

いまからの社会福祉の地域活動は、ボランティアの人々に期待するところが多いと言われております。このため、地域に多くのボランティアを育てようと、県が主体となって市町村社協に助成し、その基盤を確保させようとするものです。

本社社協も五十万円の費用で次のような事業をいたします。

- (一) 啓発、養成事業
- ・ 福祉ニーズの調査
- ・ 福祉講座、手話講座、介護教室の開設
- ・ ボランティアニュースの発行

促進事業

- (二) 活動基盤づくり
- ・ ボランティア基金の設置
- ・ 新規ボランティアの開拓
- ・ ボランティアコーナーの設置等……

- (三) 実践活動事業
- ・ 食事サービス、おせち料理の配布
- ・ 先進地ボランティア活動者交流会参加等……

◆ ボランティア活動を希望される方は社協まで連絡ください。(八五〇〇三八)

お知らせ

障害者ふりむき

舞い降りて来たパラシユート

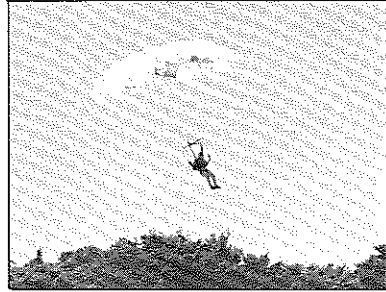
第六回茨城県身障者スポーツ大会開催

空の彼方から、横長の赤、白、黄、青と原色豊かな鮮やかなコントラストをもったパラシユートが舞い降りてくる。約三〇〇〇名の心身障害者と関係者が見上げるなかで。降下場所である笠松運動公園サッカー場のどまん中に、一寸違わず着地した。ポランテ

として飛び廻る彼らの顔には年に一回催される第六回茨城県心身障害者スポーツ大会に参加した幸福感が表われていたようである。わが村でも、心身障害者社会適応訓練施設ホープ農場に毎日通所している障害者七名と、役場住民福祉課長外関係者七名が参加、特に大谷地区の久田千枝子さんのポランテ

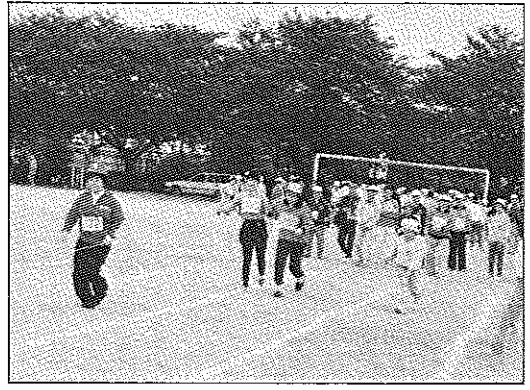
みとれる障害者呢たちは、おそらく目のあたりにみるのは初めてではないのだろうか。一斉に大空を見上げて嬉々

と、日楽しく過して参りました。さる、五月十五日取手市において開催された第十八回福北地区身体障害者スポーツ大会の翌日、村長室に所用で入ったところ、「昨日はご苦労さん、疲れたろう」とねぎらいの言葉があった。とっさに「いや、たいしたことはありません。でも、ずっと立ちっぱなしでしたので……」と申しあげた。立っていたのは命じられていたものではなく、カメラマンを兼ねていたので情景によってはいつでもという構えでいたからである。ところが、村長から「いや座っているのも疲れるものだよ」と返って来た。そうだ、村長は開会時間前から参加し



雑感

ことばづかい



特にある障害者の競技には直接介護的役割りまで果し、その後数時間障害者と共に校庭に敷かれたゴザの控席に座っていた。

自治体の長が、一日障害者と過す方は永年この行事に参加しながらお目にかかったことがない。それよりも、私の会話は村長のご苦労を思いや

とは、座っていたのだから楽ではなかったのかという意味を含む言葉ではないのかといううことである。特に、現在社会福祉協議会の仕事を進めている対象者は社会的に弱い立場に居る人達である。その人達とどんな言

あとがき

ことしは、わがまちポランティア事業の指定をうけ、いよいよ本格的なポランティア活動に、住民の皆様の参加を期待しながら特集をいたしました。今後とも、御指導と助言をいただきながら社協だよりを充実してまいります。

(事務局長 林 慶康)